

都道府県名:愛知県 団体名:入鹿用水土地改良区

概要

入鹿用水土地改良区は、愛知県尾張北東部地域の水田約600haに農業用水を適正に配水するために、全国最大級の農業用ため池である入鹿池と約80kmに及び用水路を管理しています。江戸時代初期（1633年）に築堤された入鹿池は、現在に至るまでの約380年間、尾張北東部の大地を潤し、地域農業の発展に大きく貢献してきました。近年では、農林水産省の「ため池百選」に選出されるほか、その歴史的価値が認められ、ICID（国際かんがい排水委員会）の世界かんがい施設遺産に登録されています。

略歴

昭和27年	入鹿用水土地改良区設立
昭和47年	県営大規模老朽ため池事業完了
平成3年	県営防災ダム事業入鹿地区完了
平成14年	水源涵養林整備事業完了
平成17年	入鹿池高度利用運用開始
平成22年	入鹿池が「ため池百選」に選出
平成27年	入鹿池が「世界かんがい施設遺産」に登録

功績内容

- ・入鹿用水土地改良区は、設立から64年間、尾張北東部地域の農業用水の安定供給に資するため、水源施設である入鹿池の堤体改修や洪水調整機能の付与の促進に尽力し、入鹿池を利水・防災など多面的な機能を有する地域の宝に育て上げてきた。
- ・同改良区は買収した入鹿池の水源地の一部において、県営事業で整備された水源涵養林を管理するほか、小学校の課外事業実施による地域交流、地域の生態系の保全・回復を図るビオトープを管理するなど、地域振興にも大きく貢献しています。

入鹿池の風景（ため池百選）



入鹿池高度利用運用



小学校の課外授業



水源かん養の森